

2014年6月4日

東急不動産株式会社

お客様の声を活かし、その先に新しい価値の提供を BRANZオリジナル商品企画 MEUP(ミアップ) 「ブランド溝のロレジデンス」より導入

東急不動産(本社:東京都渋谷区、社長:三枝 利行)の分譲するマンション「BRANZ」では、「暮らしを高める機能美。」を追求するオリジナル商品「MEUP(ミアップ)」を開発いたしましたので、お知らせいたします。

「MEUP(ミアップ)」開発の目的は、お客さまの声を活かしつつ、ニーズの先を見据えた新しい価値を商品で提供し共感を得ることにあります。ネットアンケート・グループインタビュー・訪問インタビューなどお客さまの生の声を聞く活動「BRANZ VOICE(ブランドボイス)」で得られた様々な声からニーズを把握し、BRANZが持つ知見と総合力による独自の視点を加え具現化。機能性を超え“暮らしの機能美”に至る、スマートな商品化を目指しました。

第一弾として、お客様からの声が特に多かったキッチン・洗面化粧室・浴室の水回り空間でそれぞれ商品化し、6月中旬にマンションギャラリーがオープンする予定の「ブランド溝のロレジデンス(所在:川崎市高津区、総戸数:50戸)」で導入いたします。

本オリジナル商品MEUPは、「ブランド溝のロレジデンス」への導入以降、今後順次開発する物件への導入を予定しています。第一弾の水回りに続き第二弾以降では、収納やソフトサービス等への商品開発を検討しています。

■「MEUP(ミアップ)」の名前に込めた思い

MEUP

名称の「MEUP(ミアップ)」は、私【ME】をより高い所に

【UP】=『自分自身を高める』という意味を込めた造語です。

【ME】は“美”でもあり、コンセプトである『機能美』とも接続。

『機能の高まりと共に美しく洗練される』という意味を成しています。

■「MEUP(ミアップ)」でBRANZが目指すこと “コンセプト:暮らしを高める機能美。”

住まいの提供者として、暮らしの安心・安全・快適・便利という基本的価値を高め続けるだけでなく、お客さまの声を活かしながら常に新しい価値を追求し、それを具体的な「形」にして提供し続ける。それがBRANZの考えるオリジナル商品開発MEUP(ミアップ)です。

コンセプトは「暮らしを高める機能美。」。機能性を高めることだけに留まらず、そこに美しさを取り入れることに注力しました。使う方の所作までもが美しくなることを“機能美”と捉え、単にデザイン性が高いだけでなく、暮らしそのものがスマートで洗練されることを目指しました。使いやすさと洗練された美しさを両立させ、キッチンには効率的に使えるスマートさを、洗面化粧室には限られたスペースを最大限に活用できるスマートさを、そしてユニットバスには自分のスタイルに合った無駄のないスマートさを、それぞれ実現させています。

■KITCHEN／キッチン ～多様な場に、流れるような動線を。～

「何をどこに収納すべきかわからない」・「なるべく生活感を出さずに暮らしたい」といったお客様の声に応えるために、キッチンでの多彩な動きをシミュレーションし、動線と収納を根本的に見直しました。

洗練された空間と無駄な動きをなくし、無理のない姿勢での使用感を追求することで、美しい所作で効率的に使えるスマートなオリジナルキッチンをご提案します。

1. 開放感と洗練された空間の両立

オープンキッチンとインテリア性を高めるフラットカウンターの組み合わせを採用することで、リビングダイニングへとつながる開放感と洗練された印象を創出します。

2. キッチンワークトップへのこだわり

キッチンのワークトップは、シャープな印象にこだわり、安全性を考慮しつつ、直線的なデザインを採用しました。

3. デッドスペースの活用

今までデッドスペースとなっていたリビングダイニング側の空間には、新たな収納スペースを設置。小物をディスプレイするなど、収納だけではなく、“魅せる”演出が可能です。

4. 合理性と可変性を併せ持つキャビネット空間

耐久性と清掃性にすぐれたホーロー素材を敷き詰めたキャビネットは、収納する調理器具を想定したデザインにより収納場所がひと目でわかる合理性と、可動式の間仕切りによる可変性を併せ持たせました。

① 出し入れスマートなシンク下キャビネット

シンク下のキャビネットは、下ごしらえ用の調理器具を整頓収納することが可能。使用頻度の高い包丁やまな板、お玉などのレードル類の収納スペースを、出し入れが便利な引き出しの手前側に設けています。



② ジャストサイズ収納をかなえるコンロ下キャビネット

マグネット式の間仕切りポールを使うことで、サイズに合わせて鍋やフライパンなどをすっきり整理できます。鍋蓋や油など、背の高いものを整理するための可動式の間仕切りバーも装備しています。



5. 開放性と収納性の両立

レンジフード隣のスペースは、調理をしながら効率よく使える有効な収納空間であると考えました。そこで調理中によく使うものを収納する吊戸棚を圧迫感の少ないサイズで配置することで、開放性と収納性を両立させました。



■DRESSING ROOM／洗面化粧室 ～限られた空間を、美しく、より効率的に。～

「忙しい朝、家族でバッティングして困る」・「ちょっとした家事もこなしたい」など、洗面化粧室では、限られた空間内での機能性について多くのニーズが寄せられました。そこで今まで一つのデザインしかなかった洗面カウンターに、個々のライフスタイルや好みに合わせた“選べる”デザインを取り入れ、限られたスペースを最大限に活用できるスマートな洗面化粧室をご提案します。

1. 選べる洗面カウンター

「洗面化粧台をゆったり使いたい人」と「忙しい朝だからこそ二人同時に使いたい人」。それぞれのライフスタイルに合わせ、2つの洗面台をご用意しました。

① センターボウル（忙しい朝こそ空間にゆとりを。）

洗面ボウルが中央にあるシンメトリーなデザインが、バランスのよい空間を演出。広々としたボウル下収納も設けています。

② 偏芯ボウル（忙しいからこそ二人並んで。）

洗面ボウルが片側に寄せてあり、二人並んで同時使用できる点が魅力です。洗面台を使用する片側で化粧を行うなど、可変性のあるフリースペースも設けています。



センターボウル



偏芯ボウル

■BATH ROOM／浴室 ～癒しの場にも、自分スタイルを。～

「本を持って長風呂する」・「ほとんどシャワーですませている」など、浴室では個々で異なる入浴のスタイルが見られます。特にシャワーの浴び方に着目し、入浴スタイルに合わせて“選べる”機能とデザインを取り入れました。自分のスタイルに合った無駄のないスマートな浴室をご提案します。

1. 選べるバスカウンター

立ったままシャワーを浴びる人、バスタチェアに座って体を洗う人、それぞれのスタイルに応じてシャワーまわりのデザインを選ぶことが可能です。

① スリムカウンター

立った姿勢の動線を意識。収納は手の届く高い位置に、動きやすさを確保するスリムなカウンターを設置しました。

② ワイドカウンター

座った姿勢の動線を意識。収納は手の届く低い位置に、洗面器も置けるワイドなカウンターを設置しました。



スリムカウンター



ワイドカウンター

2. お客様視点にこだわった細部までの工夫

ミネラルウォーターやアロマキャンドルなどが収納でき、壁から取り外して持ち運べるワイヤーバスケットや、フックつきで便利な収納棚などお客様の使い方を意識し、こだわった便利な小物も装備しています。



ワイヤーバスケット



フックつき収納棚

※物件により、仕様・セレクト期限が異なる場合や、オプションの場合がありますので、個々の物件に関しましては各パンフレット・図面集等をご確認ください。

■「ブランチ溝の口レジデンス」の概要

所在地	神奈川県川崎市高津区溝口一丁目196番3(地番)
交通	東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅 徒歩5分 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 徒歩4分
敷地面積	939.15㎡
延床面積	4,144.84㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上14階建
総戸数	50戸、ほか店舗2区画
間取り	3LDK(予定)
専有面積	67.14㎡~77.28㎡(予定)
売主	東急不動産株式会社
施工	川田工業株式会社
管理会社	株式会社東急コミュニティー
販売会社	東急リバブル株式会社
	販売開始 2014年7月中旬(予定)
スケジュール	竣工 2015年3月上旬(予定)
	引渡 2015年3月下旬(予定)
物件HP	http://sumai.tokyu-land.co.jp/branz/mizonokuchi-residence/

以上



完成予想 CG